

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	肝転移を伴う StageIV 大腸癌に対する肝切除後早期再発の検討
	研究目的	切除可能な大腸癌肝転移に対しては切除が推奨されるが、高率な再発が問題となっている。再発リスク因子を検討し早期再発の対策を講じることが必要である。本研究は、肝転移を伴う StageIV 大腸癌に対する肝切除を行った症例を対象とし、早期再発（肝切除後 180 日以内の再発）と非早期再発（肝切除後 181 日移行に再発したと診断）の 2 群にわけ、全生存期間（OS）、および臨床病理学的特徴を後方視的に比較し、早期再発に関する予後と危険因子について検討する。
	研究対象者	肝転移を伴う StageIV 大腸癌と診断され、2009 年 1 月から 2018 年 12 月に根治度 B 切除を行った症例
	研究期間	西暦 2019 年 12 月 25 日 ~ 西暦 2021 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器外科 加藤綾
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科大腸
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし